

带状疱疹と 带状疱疹ワクチンについて

どんな病気？

带状疱疹は、水ぶくれを伴う発疹（水疱）が、皮膚に分布している神経に沿って帯状に出現する疾患です。水疱が見られる2～3日前から痒みや痛みを感じるようになり、1週間程度たつと水疱の多発や発熱、頭痛といった症状がみられることもあります。通常は2～4週間で皮膚症状がおさまります。子どもの頃に水痘（みずぼうそう）にかかると、水痘・带状疱疹ウイルスが体の中で長期間潜伏感染し、加齢や疲労によって免疫が低下した際などに「带状疱疹」として発症します。また、皮膚症状が治った後も、長い間痛みが残る带状疱疹後神経痛（PHN）になる可能性があります。原因となる水痘・带状疱疹ウイルスに対しては、成人の9割以上が抗体を持っていることから、既にほとんどの人が感染していると考えられ、誰もが带状疱疹を発症するリスクがあります。



予防と治療

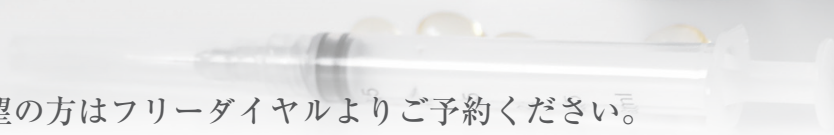
予防としては、できるだけ健康的な生活習慣を保つことが大切です。食事のバランスに気をつけ、適度な運動と十分な睡眠を心がけましょう。さらに、50歳以上の方については、ワクチンを接種することで、発症予防、重症化予防が期待できるとされています。治療の中心は、ウイルスの増殖を抑える抗ウイルス薬です。より早期の投与が効果的といわれていますので、痒みや痛みのあとに水疱が出現したりしたときは、できるだけ早く受診しましょう。



带状疱疹ワクチンについて

带状疱疹ワクチンは、現在 2 つの製品（シングリックス、ビケン）があります。

名称 (ワクチン製造メーカー)	乾燥弱毒生水痘ワクチン ビケン(阪大微研)	乾燥組換え带状疱疹ワクチン シングリックス(GSK)
種類	生ワクチン	不活化ワクチン
対象	50歳以上 比較的健康的な50～60代	発症リスクの高い18歳以上 高齢者、免疫低下の方
接種回数	1回	2回(2ヶ月間隔)
費用	¥8,900	¥44,000(2回で)
接種方法	皮下注射	筋肉注射
発症予防効果	69.8%	96.6%
持続性	5年程度	9年以上
副反応	ほぼなし	発熱1日程度 注射部位の痛み3日程度



★接種ご希望の方はフリーダイヤルよりご予約ください。

0800-200-4371